

出雲市スポーツ推進委員だより

題字：板垣謙二委員（出雲支部）

第11号（平成29年10月）

出雲市スポーツ推進委員協議会 会長 久家 彰

猛暑の夏が終り、スポーツに最適な季節になりました。皆様には、日頃より積極的に活動されている事に感謝と敬意を表します。

6月の岩国での中国地区研修、8月益田・美都での県研修には例年以上の参加があり、うれしく思っています。近年研修会では「障がい者と健常者が共に楽しめるスポーツ」について学んでいます。県研修の基調講演で聴覚障がい者がプレーする「デフサッカー」男子日本代表の竹内裕樹さんは、先天性の聴覚障がいがありながら、サッカー競技生活を通じて諦めない心とコミュニケーションの大切さを学んだと話されました。視力も聴力も有り、何不自由のない生活をあたり前に思い日常生活をしている事に改めて感謝すると共に、障がい者の皆さんの努力に頭が下がる思いがしました。



11月12日の出雲地区研修は、私達出雲市の委員が担当して開催する事になっています。この研修会での基調講演をお願いに岩崎巖さんに会いました。彼も視覚障がいがありながら「五感のうち一つが不自由になってもまだ残る感覚がある」と逆境を克服してハーモニカを習得し、「前向きな気持ちをもっていれば良い事がある」「できるだけ多くの人に元気になってもらいたい」と演奏活動を続けられています。二人にお会いして、コミュニケーションの大切さや、感謝の気持ちを忘れない、前向きに努力する姿など多くの事を学ぶことができました。私達スポーツ推進委員にとっても大切な事だと思います。今回の出雲地区研修会は私達の活動を広く地域の皆さんに知ってもらう為に公開研修する予定です。出来る限り知人、友人にPRして下さい。そして、スポーツを通して地域の皆さんに喜ばれる出雲市スポーツ推進委員協議会を目指して、彼らに負けない前向きな努力を積み重ね、力を合わせて活動しましょう。

ニュースポーツPR事業

今年もニュースポーツPR事業を4月29日(祝)「出雲ドームde スポーツ&健康フェスティバル」にて開催した。

今回も、フロート、ラダーゲッター、スポーツチャンバラ、玉入れ、ネットパスラリーのニュースポーツ5種目を実施した。今年はお出雲ドーム誕生25周年ということもあり450名の参加者があった。初めて体験する人もルールの説明を聞いて、友達同士や家族連れで楽しく、時には真剣な顔つきで挑戦していた。どの種目も笑顔と歓声で盛り上がっていた。

来年もこのPR事業を通してニュースポーツの楽しさを多くの人に体験してもらいたいと思う。

記：梶谷委員（平田）



中国地区スポーツ推進委員研修会

日 時 平成29年6月24日～25日

会 場 1日目 全体会 シンフォニア岩国
情報交換会 岩国国際観光ホテル
2日目 実技研修 岩国運動公園

研 修

基調講演

講師 松本耕二(広島経済大学経済学部スポーツ経営科教受)
演題 ささえあうスポーツの推進
～好循環のためのコーディネート(連絡・調整)～



実践発表

岡山県倉敷市スポーツ推進委員協議会 「地域に根差した活動をめざして」
広島県廿日市市スポーツ推進委員協議会 「五つの輪の融合と継続」
山口県岩国市スポーツ推進委員協議会 「新たな道を切り開く岩国スポーツ推進委員活動の紹介」

実技研修

①ウォーキング②ペタンク③ミニテニス④カローリング⑤バウンドテニス
(5種目の中から1種目選択)

6月24日(土)・25日(日)山口県岩国市で953名が参加して開催された。(出雲市より11名参加)開会行事に続き、東泰治中国地区会長より功労者に表彰状が授与された。

基調講演では、広島市スポーツ推進委員でもある松本耕二先生が「ささえあうスポーツの推進」と題して話された。「スポーツには世界を変える力がある」「スポーツは世界共通語」と言った言葉が心に残った。

実践発表では、倉敷市、廿日市市、岩国市から日ごろの活動の報告があった。廿日市市佐伯地域では、テレビの人気番組「逃走中」をアレンジして行い、沢山の参加者が集まったそうだ。

情報交換会では、岩国の銘酒「獺祭」が委員さん同士の交流に花を添えてくれた。

実技研修では、私はウォーキングを選択したが、あいにくの天気で錦帯橋までバスで移動し、周辺をボランティアガイドさんと一緒にウォーキングをした。カローリングに参加した方は、ジェットローラーが思った所に止まらなく悪戦苦闘をしたけど、とても楽しかったと言っておられた。

2日間有意義な研修ができ、これからの活動に活かして行きたいと思った。
記：糸賀委員(大社)



新任者研修

出雲市スポーツ推進委員協議会新任者研修が7月24日出雲市役所くにびき大ホールで開催された。スポーツ推進委員の役割、協議会についての説明を聞いた後、金折ゆき子氏より「スポーツ推進委員としてできること」の話聞いた「だれもがスポーツを楽しみ、親しむことのできる環境をつくっていくこと。スポーツ推進委員への期待は大きく誇りを持って自分のできることから活動していこう。」と話をされた。次にグループ討議に入り、ベテラン委員からアドバイスを受け、新任の委員からは「色々な研修に参加して勉強したい」など前向きな声が聞かれた。

短い時間だったが沢山の意見交換が行われ、新任委員にとって大変勉強になった。

記：野津委員(佐田)



支部活動

■多伎支部

事業名 スポーツ吹矢体験及び大会
日 時 平成29年7月29日(土) 9時30分～11時30分
会 場 多伎コミュニティセンター大ホール
参加者 18名(大人14名 子供4名)

本事業は、ニュースポーツ普及のなかで「スポーツ吹矢体験及び大会」を行った。だれでも、簡単にできるスポーツであり、幅広い世代で参加者を募集した。はじめに、競技説明と実演を行い、20分間の練習時間を設けた。1チーム3人で、ひとりが3ゲーム(合計15射)を行い、合計得点での団体戦とした。初めての方が、ハイスコアであったのは驚きであった。

皆さんもぜひ体験してみてください。

記：持田委員



■湖陵支部

事業名 ノルディックウォーキング講習会
日 時 平成29年9月3日(日) 9時～11時
会 場 湖陵体育センターから西浜海岸
参加者 10名

毎年恒例となったノルディックウォーキング講習会を、今年は秋に開催してみた。体育館の中でノルディックウォーキングについての基礎講習と暑さ対策を済ませ屋外へ。往路は体育センターから海岸道路を歩いて漁港で一休み、復路は海岸を歩いて体育センターまで戻るコース。天気は良かったが涼しい風が吹いており、暑すぎることなく気持ちよく歩けた。道中は、参加者と体調について話したり、また、庭先で作業している人たちと話したりと、比較的ゆったりとしたペースで歩いたので、途中で救護されることなく全員でゴールすることができた。稲刈りと重なったせいで参加者が少なかったのが残念だった。

記：田中委員



島根県スポーツ推進委員研修会

島根県スポーツ推進委員研修会が、8月26日～27日益田市で開催され、出雲市から8名参加した。基調講演では「スポーツならどんな障がいも越えられる～サッカーから学んだこと～」と題して、デフサッカー日本代表竹内裕樹選手、NPO法人ボアソルテスポーツクラブ副代表理事大賀肇氏が感動的な講演をされた。デフサッカーとは聴覚障がいのある方が行うサッカーである。この競技は「コミュニケーション」＝アイコンタクト「目で見て行動をする」をととても大切にしているそうだ。

また、口の動きで話の内容がある程度理解できる事はすごいなと思った。

実技研修では、「障がいのある人と一緒に楽しむグラウンドゴルフ」をした。目隠しをしてグラウンドゴルフをする人と、音や方向、距離を言葉で教える補助役をそれぞれ体験した。

大変難しかったが、何事もやればできる有意義な体験が出来た。障がいの人の立場に立って物事を考えることは大事だと感じた。

記：星野委員(斐川)



表彰

島根県スポーツ推進委員協議会功勞表彰

永瀬 明 板倉百合子 持田 透 星野秀人 三島伸之 藤原雅子 (敬称略)

お知らせ

■今後の予定

- 出雲地区研修会 平成29年11月12日(日) (出雲西部体育館、長浜コミュニティセンター)
- 全国研究協議会 平成29年11月9日(木)～10日(金) (茨城県つくば市)

《編集後記》

暑い夏が終わりました。何とか第11号が出来て、ほっとしています。あと半年、委員の皆さん、体調を整えて頑張りましょう。(K.H)

《出雲市スポーツ推進委員協議会事務局》

(NPO法人 出雲スポーツ振興21)
出雲市矢野町999
(出雲健康公園健康センター内)
TEL0853-25-1006 FAX0853-25-0106

広報部：(部長) 久野晴見・糸賀伸明・佐々木由紀子・清水康子・田中宏子・福田美穂・藤原雅子・持田透